

地域コミュニティの構築を期待しています。委員も精力的に町内会役員の意見を聞き、その意見も参考にしながら協議を進めています。このようなことから、地域住民が主体となったコミュニティ活動を行政が適切に支援し、地域と行政がしっかりと協力関係を築くため、本市の実情を踏まえたコミュニティのあり方について引き続き検討課題の整理を行い、他市の事例も参考に議論を深めたいことから継続調査を求めます。

## 保健福祉委員会

### ■調査第2号「地域医療計画と医師確保について」

保健福祉委員会より、平成25年第2回定例会において継続調査の許可を得ました、調査第2号「地域医療計画と医師確保について」の調査経過について報告いたします。

本地域医療計画は、北海道保健医療福祉計画を基本とし、富良野市の基本的方向を指針として示すことにより、具体的施策を市民に示すものとして策定し、

これまで運用されているところですが、基本となる計画が、北海道医療計画として平成25年に改訂されており、地域医療計画との整合性について議論を重ねているところです。

また、医師確保については、北海道で策定された「自治体病院等広域化・連携構想富良野地域行動計画」による分析をもとに議論を重ねながら、8月5日には、富良野医師会との懇談を行い、地域センター病院における医師の勤務実態や、将来的な医師確保対策の提言を受けたところです。

今後は、都市事例調査の実施により、さらに調査を深めたいことから、今回は中間報告として継続調査を求めます。

## 経済建設委員会

### ■調査第3号「農業振興について」

第2回定例会において継続調査の許可を得ました、調査第3号「農業振興について」の調査経過について中間報告をいたします。

経済建設委員会では、富良野市の農業振興について、担当部に富良野市の農業概要、市の農業振興に関する各種施策の現状と課題、富良野市の農業及び農村基本計画の検証並びに新たな計画策定の進捗状況についての資料の提出と説明を求め、調査をしてみました。

本委員会では、富良野市の基幹産業である農業について、まちづくりの中における農業振興の位置づけを確認し、富良野らしい農業とは何か、また、それを目指すべく富良野市の施策としてあるべき方向性をテーマに議論を進めています。

現在の富良野の農業においては、基本計画を検証する中で、農家戸数、農業就業人口は試算していた推計よりも減少していない状況にあります。新規就農者数は推計より減少し、団塊世代の農家子弟の就農が一段落したことで、本格的な減少局面に入っています。また、農家一戸当たりの経営耕地面積は増加傾向にあり、現在の基本である家族経営で管理できる経営規模の限界に近づいているものと認

識しています。農家後継者への円滑な経営継承、新規就農者の確保、そして、そこへの適切な農地の流動化が進まなければ、耕作放棄地は今後も増え続け、富良野の観光資源である農村景観の保持に大きな影響を与えない状況となっています。

さらに、国際情勢においてもTPP交渉への参加や日豪EPAの問題など不確定な要素が多く大変厳しい環境にあります。

このような状況において、本委員会では国の施策に左右されない富良野らしい農業、つまり土地利用型や集約型、法人経営など多様な経営形態を包含した中で、こうした危機を乗り切るべく富良野農業の経営スタイルの確立について幅広く議論を重ねてきています。

今後は、都市事例調査を実施し、ブランド形成や農産物の付加価値向上、担い手・後継者の人材育成、他産業との連携や農村問題など多面的な調査の中から、本市のまちづくりの視点からの農業振興についてさらなる議論の掘り下げが必要なることから継続調査を求めます。